

長寿手帳と私

中村 千春 65 主婦(高知市縄手町)

この春から正式に年金受給者になり、各施設でさまざまなサービスも受けられるようになりました。でも長寿手帳というネーミングに少し抵抗があり申請するのを迷っていました。

そんな中、牧野植物園に行くときにマイナンバーカードで無料入園できて、「ラッキー、これでいい」と思っていました。

その後、県立美術館での企画展に友人と行き、また誕生

日を迎えてない彼女に「ごめんね、私だけだでー」と言っていてマイナンバーカードを出すと、受付の人が「長寿手帳がないとサービスは受けられませんが」とのこと。えっ、でも牧野植物園は大丈夫だったんですけど、「決まり事ですから」。正規の料金で入りました。

帰宅してスマホでサービス一覧を調べてみると、美術館だけでなく文学館、高知城、オーテピアのプラネタリウム

等々が無料、映画や買い物、交通機関も割引と、お得満載でした。これからは「きょうよう(今日用がある)」「きょうういく(今日行く所がある)」が大事なお年頃というし、早速市役所に行って長寿手帳をもらってききました。

その後文学館の企画展にも行って感動しました。手帳がなければ、きつと見逃していたと思います。これからも、頑張っているいろいろな行くと張り切っている私です。

美しいホテルの里いつまでも

大高 ひろ 67 主婦(中土佐町上ノ加江)

「ホーツ、ホーツ、ホーツ来い」と呼びかけながら、竹ぼうきを持って近所を追い掛けたことを懐かしく思い出します。先日主人の同級生が誘ってくれて中土佐町内の大野見下川へ午後7時半ごろ、出掛けました。

雨の降る前の日はホテルがたぐきん出るといふ期待通り、川の流れの向こうの山の中から湧き上がるように飛んできました。田んぼの中の無数のカエルの大合唱とともに

ゲンジボタルの明かりが舞い上がり、携帯電話のライトを向けて振り返るとそれにつれて踊るように広がり、見事に幻想的な光景でした。

最近除草剤などを使う所が増えてきて、上ノ加江も昔は見掛けたけれど最近激減していたので、久しぶりに楽しい時を過ごしました。大野見の水がきれいなので、「四万十源流の里」の近くでも見掛けることができました。こんなにも美しい風景を多くの子

供たちや都会の方々にもぜひ見てもらえたらすばらしいと思います。

主人の同級生は、その日の仕事を終えると、夕食もそこに毎夜ホテルの観察に出掛け、ホテルの寿命を確認しながら、友人を次々と誘っています。月明かりの中でも負けず光り飛ぶ姿を、来年も多くの友人に伝え、いつまでもこの自然が残されていくことを願っています。

レジェンドとは

小笠原 隆政 69 学習塾経営(高知市棧橋通)

今、レジェンドと聞いたらまさに大谷翔平の事だろう。野球の本場、米国大リーグにおいて天文学的金額の収入を保証されながらも、彼はおり高ぶりもせず黙々と彼の仕事をこなしている。

その姿に私は、彼こそ21世紀のスポーツ界のレジェンド(伝説的な人物)になると確信している。大リーグのレジェンドと言えはペーブ・ルーエスが有名だが、きつと彼を超えるだろうし、記録づくめの

目の当たりにできている私たちは、まさにそのレジェンドの生き証人なのだ。

以前、知人が「後楽園球場で主選手のホームランを直接目撃して以来ずっと彼を尊敬している、その後世界一にもなり今でも彼の強いファンだ」と話していたのを思い出した。88本のホームランは今でも世界一だが、今の大谷選手との報道の温度差はいったい何が違うのかと考えたら、やはり米国とわが国の野球マナーケットや人気の違いに他ならないと思う。

願わくは彼が現役のうちにそして私が元気なうちに、彼の生の試合を米国で見たい気持ちに駆られてしまっている。もしそこで彼のホームランでも目撃しようものなら、知人以上の気持ちに駆られて彼の熱狂的なファンになる事だろう。

でもあれだけホームランを打たれたら、日本だったら敬遠の連続になるのではと思ってしまう、米国野球のすごさを改めて痛感している。